

主要参考文献リスト

(小林一三本人によるもの)

・小林一三『逸翁自叙伝——青春そして阪急を語る』阪急電鉄、二〇〇〇年

・小林一三『小林一三全集』ダイヤモンド社、一九六一—六二年

・小林一三『私の行き方』斗南書院、一九三六年

・小林一三『私の人生観』要書房、一九四二年

(以下、本文掲載順)

・小林一三翁追想録編纂委員会『小林一三翁の追想』小林一三翁追想録編纂委員会、一九六一年

・エマニユエル・トッド著／石崎晴己監訳『最後の転落——ソ連崩壊のシナリオ』藤原書店、二〇一三年

・三宅晴輝『小林一三伝』東洋書館、一九五四年

・三野村清一郎『三野村利左衛門伝』三野村合名会社、一九六九年

・青潮出版株式会社編『日本財界人物列伝(一)』青潮出版、一九六三年

・池田成彬述／柳沢健著『故人今人』世界の日本社、一九四九年

・川崎賢子『宝塚——消費社会のスペクタクル』講談社選書メチエ、一九九九年

・津金澤聰廣・近藤久美編著『近代日本の音楽文化とタカラヅカ』

世界思想社、二〇〇六年

・鈴木晶『オペラ座の迷宮——パリ・オペラ座バレエの350年』新書館、二〇一三年

・渡辺裕『宝塚歌劇の変容と日本近代』新書館、一九九九年

・小玉武『佐治敬三——夢、大きく膨らませてみなはれ』ミネルヴア書房、二〇一二年

・サン・アド編『やってみなはれ——サントリーの70年I』サントリー、一九六九年

・佐治敬三『へんこつ なんこつ』日本経済新聞社、一九九四年

・四方田犬彦『母の母、その彼方に』新潮社、二〇一六年

・阪急百貨店50年史編集委員会編『株式会社阪急百貨店50年史』阪急百貨店、一九九八年

・阪田寛夫『わが小林一三——清く正しく美しく』河出文庫、一九九一年

・矢野恒太記念会編『矢野恒太伝』矢野恒太記念会、一九五七年

・猪瀬直樹『土地の神話』小学館、一九八八年

・洪沢栄一述／小貫修一郎編著／高橋重治編纂『青淵回顧録』青淵回顧録刊行会、一九二七年

・東京急行電鉄株式会社田園都市事業部編『多摩田園都市——開発35年の記録』東京急行電鉄株式会社、一九八八年

・田畑きよ子『白井鐵造と宝塚歌劇——「レビューの王様」の人と作品』青弓社、二〇一六年

・白井鐵造『宝塚と私』中林出版、一九六七年

・東宝三十年史編集委員会編『東宝三十年史』東宝株式会社、一九

六三年

・東宝五十年史編纂委員会編『東宝五十年史』東宝株式会社、一九八二年

・古川ロッパ『古川ロッパ「あちらから人生」』日本図書センター、一九九七年

・古川ロッパ『古川ロッパ昭和日記 戦前篇』晶文社、一九八七年
・エマニエル・トッド著／荻野文隆訳『世界の多様性——家族構造と近代性』藤原書店、二〇〇八年

・東京楽天地50年史編纂委員会編『東京楽天地50年史』東京楽天地、一九八七年

・江東楽天地二十年史編纂委員会編『江東楽天地二十年史』江東楽天地二十年史編纂委員会、一九五七年

・第一ホテル編『夢を託して——第一ホテル社史』第一ホテル、一九九二年

・阪急ブレーブス・阪急電鉄株式会社編『阪急ブレーブス五十年史』阪急ブレーブス・阪急電鉄、一九八七年

・『野球界』昭和三年六月号
・荒俣宏『TV博物誌』小学館、一九九七年

・青木貞伸『かくて映像はとらえられた——テレビの50年』世界思想社、一九七六年

・橋本雅夫『阪急電車青春物語』草思社、一九九六年
・甲南学園史資料室委員会編『甲南学園の70年』甲南学園、一九九二年

・関西学院五十年史編纂委員会編『関西学院五十年史』関西学院五十年史編纂委員、一九四〇年

・神戸女学院百年史編集委員会編『神戸女学院百年史 総説』神戸女学院、一九七六年

・小島直記『鬼才縦横——小林二三の生涯』PHP研究所、一九八三年

・寺崎英成、マリコ・テラサキ・ミラー著『昭和天皇独白録』文春文庫、一九九五年

・日本政治学会編『近衛新体制』の研究——年報政治学1972』岩波書店、一九七三年

・有馬学『日本の歴史23 帝国の昭和』講談社、二〇〇二年
・源川真希『近衛新体制の思想と政治——自由主義克服の時代』有志舎、二〇〇九年

・赤木須留喜『近衛新体制と大政翼賛会』岩波書店、一九八四年
・イアン・カーショー著／石田勇治監修・川喜田敦子訳『ヒトラー（上・下）』白水社、二〇一六年

・伊藤隆『大政翼賛会への道——近衛新体制』講談社学術文庫、二〇一五年

・岸信介・矢次一夫・伊藤隆著『岸信介の回想』文春学藝ライブラリー、二〇一四年

・日本近代史料研究会『牧達夫氏談話速記録』日本近代史料叢書、一九七九年

・阪急電鉄株式会社編『75年のあゆみ（記述編）』阪急電鉄、一九九二年

八二年

・井上雅雄『文化と闘争——東宝争議1946—1948』新曜社、二〇〇七年

・法政大学大原社会問題研究所編『日本労働運動資料集成（二）』旬報社、二〇〇七年

・秦豊吉『劇場二十年』朝日新聞社、一九五五年

・森彰英『行動する異端——秦豊吉と丸木砂土』TBSブリタニカ、一九九八年